

I 第41週の発生動向 (2009/10/5~2009/10/11)

- インフルエンザについて、迅速診断キットによる各保健所管内の内訳は、東地方+青森市(A:100人)、弘前(A:36人)、八戸(A:74人,不明1人)、五所川原(A:28人)、上十三(A:37人,不明:4人)、むつ(A:20人,B:2人)でした。
- 手足口病については、むつ保健所管内において、前週に引き続き**警報**が、発令されています。

II 第41週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 <small>(前週からの増減)</small>	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点
小児科 内務 (85) インフルエンザ	100	7.1	36	2.4	75	5.4	28	4.0	41	4.6	22	3.7	302	4.6	185	26	13.0	74	6.2
小児科 (74) RSウイルス感染症	2	0.2	18	2.0			1	0.2	1	0.2	1	0.3	23	0.5	18			2	0.3
(75) 咽頭結膜熱	1	0.1	1	0.1							4	1.0	6	0.1	1			1	0.1
(76) A群溶血性レンカ球菌咽頭炎	6	0.7	10	1.1	3	0.3	2	0.4	7	1.2	8	2.0	36	0.9	15			6	0.8
(77) 感染性胃腸炎	24	2.7	6	0.7	4	0.4	4	0.8	2	0.3	6	1.5	46	1.1	-6	3	3.0	21	2.6
(78) 水痘	8	0.9	3	0.3	4	0.4	2	0.4					17	0.4	-16			8	1.0
(79) 手足口病	3	0.3	9	1.0	8	0.9			19	3.2	10	2.5	49	1.2	15	3	3.0		
(80) 伝染性紅斑									5	0.8			5	0.1	-3				
(81) 突発性発しん	2	0.2	3	0.3	3	0.3	2	0.4	4	0.7	3	0.8	17	0.4	4			2	0.3
(82) 百日咳															0				
(83) ヘルパンギーナ															-3				
(84) 流行性耳下腺炎	2	0.2			1	0.1	1	0.2					4	0.1	-3			2	0.3
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎	1	0.5			1	0.5	1	1.0					3	0.3	-3			1	0.5
基幹 (95) マイコプラズマ肺炎			1	1.0	3	3.0					1	1.0	5	0.8	-2				

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	基幹
東地方	2	1	1	0
弘前	15	9	6	3
八戸	14	9	5	2
五所川原	7	5	2	1
上十三	9	6	3	2
むつ	6	4	2	1
青森市	11	8	4	2
合計	64	42	23	11

■ は警報、■ は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出数は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：弘前1人、上十三1人 (21年計：268人)
- (64) 後天性免疫不全症候群(五類全数把握疾患)：青森市1人 (21年計：5人)

過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

感染症の窓

インフルエンザ

(五類定点把握)

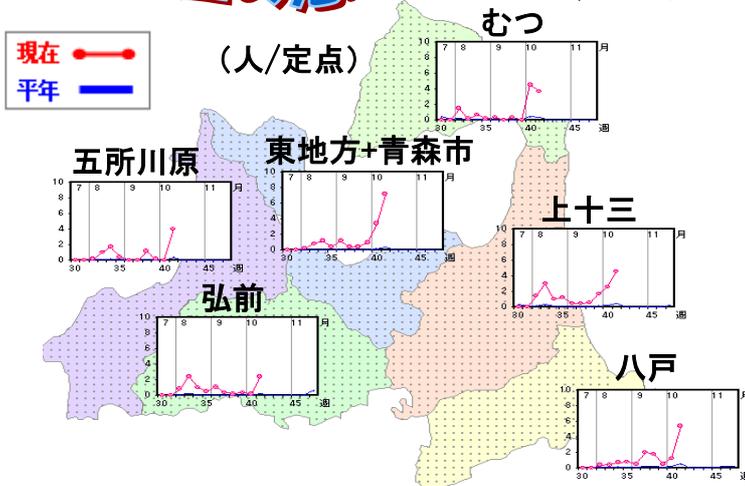


図1 保健所管内別届出数(第41週現在まで)

表1 迅速診断キットによる型別 (青森県)

	A型	B型	不明
38週	44	1	4
39週	40	0	1
40週	113	2	2
41週	295	2	5

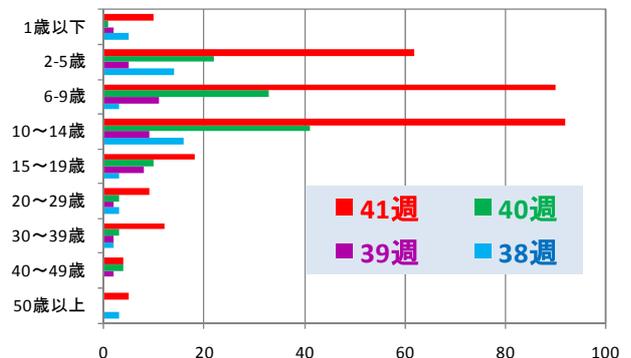


図2 年齢別届出数(青森県)(38週-41週)

県内のインフルエンザ患者数は、前週117人(1.8人/定点)から302人(4.6人/定点)と約2.5倍に増加しています。保健所管内別では、東地方+青森市管内が最も増加しています(図1)。年齢別では、10~14歳が最も多く(図2)、迅速診断キットによる型別ではA型が最も多い割合となっています(表)。